令和元年 10 月 25 日
ニュース証券株式会社
長友　哲郎
03-5466-1641

日経平均の動き

私はこれまで相場の大きな流れを的確にとらえようと、さまざまに日経平均の分析を行ってきました。そして「データによる分析で勝率を上げるため」様々なデータを作成してきました。以下はそのデータを使い、これからの日経平均の動きを私なりに分析しコメントしています。皆様のご参考になれば光栄です。

➢ 来週の日経平均予想

10 月 SQ2 週間後の終値は 22,799.81 円でした。ピーク to ピークでのデータでは「10 月 SQ2 週間後の終値は、10 月 SQ1 週間後の終値（22,492.68 円）よりも安くなる」でしたので、今回はデータが外れました。

直近10週間の週単位でのピークtoピークの検証結果

週末の終値（もしくはSQ値）		次の週の検証	次の週の終値		検証結果	変動率
8月16日	20,418.81（終値）	安くなる	8月23日	20,710.91（終値）	×	1.010
8月23日	20,710.91（終値）	安くなる	8月30日	20,704.37（終値）	○	0.940
8月30日	20,704.37（終値）	高くなる	9月6日	21,199.57（終値）	○	1.050
9月6日	21,199.57（終値）	高くなる	9月13日	21,981.09（SQ値）	○	1.010
9月13日	21,981.09（SQ値）	高くなる	9月20日	22,079.09（終値）	○	0.965
9月20日	22,079.09（終値）	安くなる	9月27日	21,878.9（終値）	○	0.998
9月27日	21,878.9（終値）	安くなる	10月4日	21,410.2（終値）	○	1.033
10月4日	21,410.2（終値）	高くなる	10月11日	21,842.63（SQ値）	○	0.970
10月11日	21,842.63（SQ値）	高くなる	10月18日	22,492.68（終値）	○	0.997
10月18日	22,492.68（終値）	安くなる	10月25日	22,799.81（終値）	×	0.933
10月25日	22,799.81（終値）	高くなる	11月1日	？		

次に来週の検証を行います。

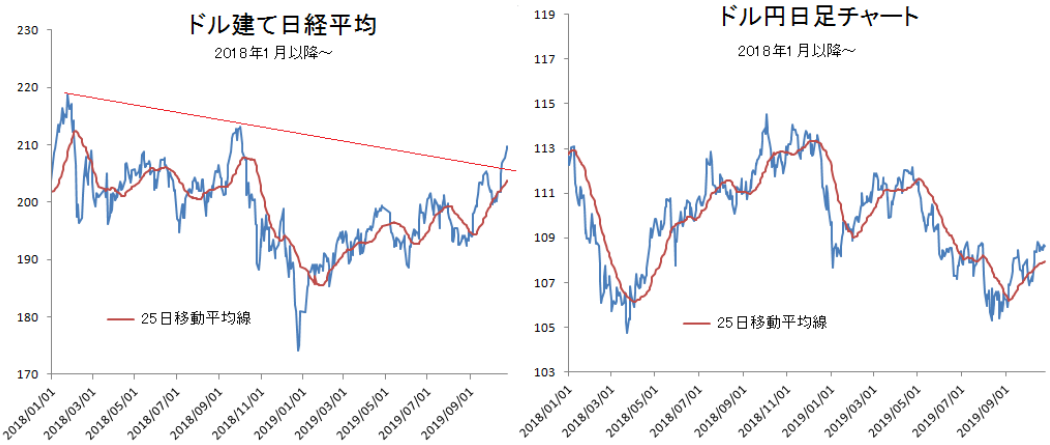
11 月 SQ2 週間前の終値と 11 月 SQ1 週間前の終値を比較すると、SQ1 週間前の値の方が高いというのが 24 回中 16 回あります（①）。

また今回のように、10 月 SQ2 週間後の終値が 11 月 SQ1 週間前よりも高いパターンは 14 回あります。そのうち 1 週間後の 11 月 SQ1 週間前の方が上昇したというのが 13 回あります（②）。

したがって、①、②より「11 月 SQ1 週間前の終値は、11 月 SQ2 週間前の終値（22,799.81 円）よりも高くなる」というのがピーク to ピークでの検証結果です。

➢ 外国人の売買動向（資料：外国人の売買代金、信用残の推移）

10 月第 3 週の外国人は 5563 億円の買い越しと、週間では今年 2 番目（1 番は 4 月第 1 週の 6227 億円）の買い越し額となっています。なお先物も 6616 億円買い越していますので、現物+先物で 1 兆 2179 億円です。これは昨年 9 月第 4 週の 1 兆 4967 億円以来の大幅買い越しとなりました。



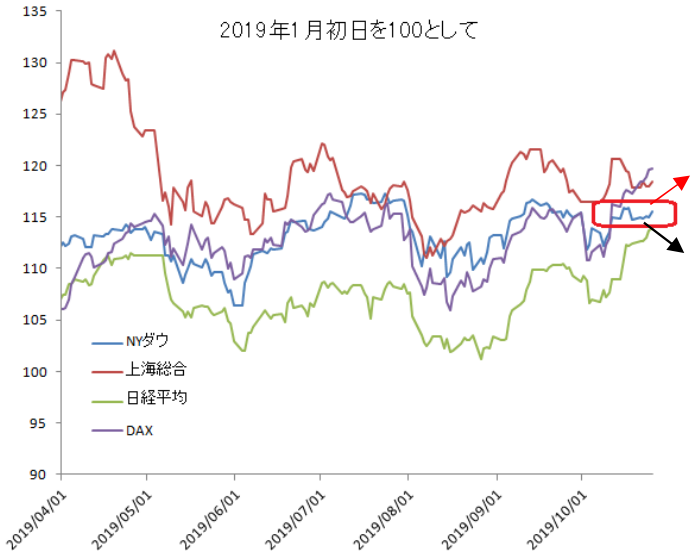
当然ドル建て日経平均も続伸し、209 ドル台まで到達しました。先週に引き続き年初来高値の更新です。これで昨年 10 月の高値である 213 ドル台まであと僅かとなってきました。しかも昨年 1 月と 10 月の高値を結んだ上値抵抗ラインを上回ってきましたので、素直に新たなトレンドの変化と言えます。

ただドル円は横ばいで推移しています。10 月末の FOMC で再び利下げを発表するとの観測から、円安になる動きは抑えられているようです。先週同様 109 円ラインを突破することはできません。

次に世界の主要市場の今週の動きを見ます。

東京市場同様しっかりした動きでしたが、特にドイツ DAX 指数は年初来高値を更新しました。英国による EU 離脱が延期されるだろうという観測で、欧州の混乱は一時的に回避されました。そのおかげで安心感が生まれたということでしょう。DAX 指数は視界良好といえます。ただし上海総合指数は少し不安です。そもそも東京市場が 10 月中旬からの再度上昇した要因は、米中の貿易協議が進展したとの観測が出たことでしたが、その当事国である中国の主要指標である上海総合指数が全く上昇していません（赤枠）。週末は少し戻していますが、来週の動きは（どちらに動くか）注目です。

NYダウ・上海総合・日経平均・ドイツDAX指数の比較チャート



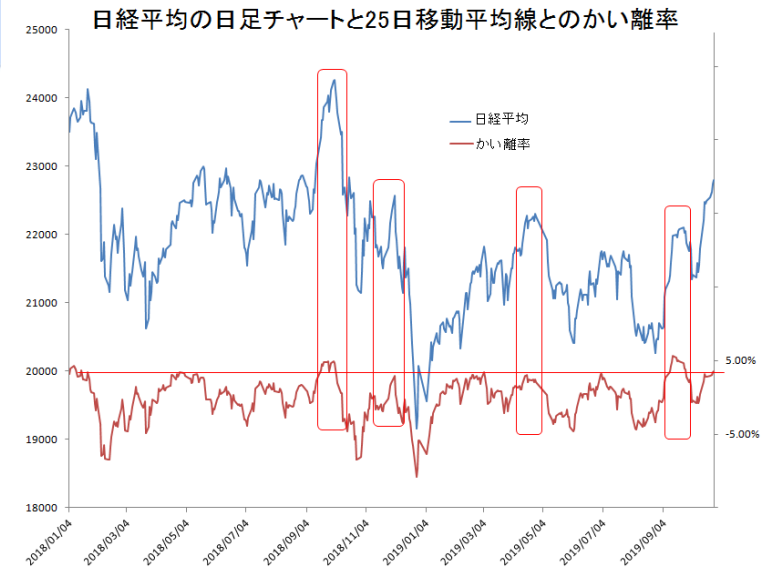
ニュース証券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011　東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号　恵比寿ビル
加入協会:日本証券業協会　一般社団法人日本投資顧問業協会

➢ チャート分析

今週の日経平均は 307 円の上昇でした。これで 3 週連続高、この間の上昇幅は約 1,400 円となっています。しかも先週に引き続き今週も年初来高値を更新し、昨年 10 月から 12 月の下落幅に対して 3 分の 2 戻し（3 分の 1 押し）水準を約 1 年ぶりに突破してきました。

現状では上昇基調となっていますし、それほど過熱感もありません。ただこのまま上昇が続けば 25 日移動平均線とのかい離率が大きくなってくるでしょう。

現在 25 日線とのかい離率は 3.5%くらいですが、2018 年以降この水準より高いかい離率の場合は上昇トレンドに入っています。しかしその後はほぼ調整局面が訪れているということも要注意です。



先週同様上昇基調には変化がありませんが、こういう場面では小さな変化を見つけていくことが大切です。この上昇局面もいずれは終わるでしょうから、そのきっかけになる変化を捉えるのです。先週も書きましたが「何年ぶりの悪化」という経済指標がポツポツと出てきていますので、「不景気の株高」ということもあるでしょう。しかし大きくリターンを得る

のは転換点で行動することです。それをピンポイントで当てるのは難しいので、少しずつ変化を探していきます。

注意事項

・この資料の作成にあたっては細心の注意をしておりますが、作業上データに誤りが発生する可能性があり、正確性を保証するものではありません。またここでの内容は現時点での判断を示しているにすぎません。また予告なく見方を変更することもあります。
・この資料は情報提供のみを目的に作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって投資の最終決定はご自身でなさるようお願いします。

Ｎｅｗｓ20191028-1

New-S SECURITIES

ニュース証券株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011　東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号　恵比寿ビル
加入協会:日本証券業協会　一般社団法人日本投資顧問業協会